

救命教育について「もっと学びたい」、「学校・地域に広げたい」の声に応えます。

2026年夏期セミナー 7月29・30日開催

ASUKA モデル と小学校からの救命教育の推進

講師は AED 財団関係者等 私たちと共に救命教育を学びませんか

申込締め切り日 7月17日(金)

I. 教員研修動画視聴のみ (IIの対面講義・協議の配信ではありません) : 定員なし (申込締切 7月17日(金))

- 教職員の緊急時対応能力の向上～ASUKA モデル』から学ぶ～ 講師：桐淵博（日本 AED 財団理事、元さいたま市教育長、元埼玉大学教育学部教授）
- JRC ガイドライン・市民 BLS 普及へのポイント・AED 財団の活動 講師：石見拓（日本 AED 財団理事、京都大学大学院医学研究科予防医学学分野教授 特定非営利法人大阪ライフサポート協会副理事長）
- 救命教育 DX 教材 “Liv for ALL” 講師：千田いずみ（日本 AED 財団減らせ突然死プロジェクト実行委員、明治国際医療大学保健医療学部講師）

II. 対面講義・協議：会場：埼玉大学教育学部（定員 40 名（申込締切 7月17日(金)）

7月29日(水)13:00-17:00 学校事故の実態と ASUKA モデルの普遍性

7月30日(木)9:30-15:00 子どもたちのいのちを守る -救命教育普及のために-

講師・助言者等（予定）*日本 AED 財団関係者

関由起子*（埼玉大学教育学部教授）

桐淵博*（元さいたま市教育長、元埼玉大学教育学部教授）

佐藤浩之*（杏林大学医学部附属病院 循環器内科学講座講師）

木下史子（文部科学省 総合教育政策局男女共同参画 共生社会学習・安全課 安全教育調査官）

山下誠二*（公益財団法人さいたま市スポーツ協会副会長、星槎学園中等部大宮校参与）

桐田寿子さん*（明日香さんのお母さま、ASUKA モデル関係者）

倉田久子さん（「全国柔道事故被害者の会」代表）

森重裕二さん（「子どもたちにライジャケを！」代表）

長野庄貴さん*（バイスタンダー経験者）

さいたま市立学校養護教諭等

昨年度の参加者の声

多様な立場の方と意見交換できました。新しい出会いがあるのもセミナーの魅力です。

協議に参加するのに少し緊張しましたが、同じ悩みを抱える方の話に勇気づけられました。

医学的な視点での講義があり、なぜ現場で心肺蘇生が必要か理解できました。

学校事故でお子さんを亡くされたご遺族によるご講義は、こどもの命を預かる教員として心に染みました。



これだけの情報量を2日間で受講できるのは貴重です。

救助者側へのフォローに関するテーマが取り上げられたことが、大変心に残りました。

参加者： 教育・保育・医療・消防関係者、学生、救命教育普及活動関係者 等

参加費： I, II どちらも無料

申込み・問合せ

QRコードあるいは以下の URL から申し込んでください

<https://forms.gle/yju5cmpqbQia89Up7>

問合せは申込みフォームにあるメールアドレスまでご連絡ください。



主催・科学研究費助成事業 基盤研究 B「『チーム学校』による心身緊急時等対応体制構築のための教育プログラム開発と情報支援」 研究代表者：関由起子（埼玉大学教育学部）

・公益財団法人日本 AED 財団